

受領 令和3年3月1日 8時30分

通告番号 (13) 1/2

令和3年3月1日

読谷村議会

議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員

城間 真弓 印

一般質問通告書

第505回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 村づくりの根幹となる2021年度施政方針より、基本指針と主要施策について問う</p> <p>(1) 施政方針と関連施策に込めた村長の思い、決意を伺います。</p> <p>(2) 一般会計予算案の概要・特徴・主要施策とは。</p> <p>(3) コロナ禍による本村の税収と財政への影響、見通し、対応は。</p> <p>(4) 沖縄県の重要施策でもあるSDGsの取り組みを、本村では具体的にどのような施策として予算化し、事業展開していくのか。</p>	
<p>2 新型コロナワクチン接種について。村民1人ひとりの尊厳が大事にされ、透明性のある対応を</p> <p>(1) コロナワクチン接種の現在の取組み、体制、予定とは。</p> <p>(2) 始めにワクチン接種が予定されている本村の医療従事者の対象人数は。また接種を「受ける・受けない」は個人の「任意」であることから、接種対象者へのワクチン接種の有無を確認する事前アンケート等が行われたか。</p> <p>(3) まだ世界的にも未知なる新型コロナワクチンに対して、村民の命を守る立場から村独自のガイドライン等も必須と考えます。村としてのガイドライン等は作成されているか。</p> <p>(4) 今後、村民にワクチン接種を案内するにあたり、ワクチンの安全性・有効性・副作用のリスク等を含めて、村民にどのような形で周知していくのか。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(5) 接種しなかった人たちが、職場や地域、学校等で社会的に不利益な扱いを受けないように、国会でも附帯決議が出された。村としてはそのことに対してどのように対応し、個人の尊厳を守っていくのか？</p>	
<p>3 一人ひとりが輝く性の多様性を尊重する村づくりへ。</p> <p>(1) 県は今年の1月に性の多様性を尊重する「美ら島にじいる宣言」を公表した。この宣言を出すまでの経緯、宣言案の内容とは。</p> <p>(2) 性の多様性に対する人権保障や、支援に関する条例の制定や、那覇市や浦添市でも掲げられているレインボー宣言等を本村でも取り組んではどうかと3年前に提案した。答弁では調査・研究を行なっていくとのことでしたが、その期間から今日まで行われた調査・研究内容とは。</p> <p>(3) 近年、教育現場においても中・高の制服について性の多様性を尊重する立場から色々な議論がされている。本村の中学校でも制服選択制について前向きな議論がされているか。</p> <p>(4) 子どもたちや教員関係者も含め、性の多様性についての研修や講話等が行われているか。</p> <p>(5) LGBTQ(性的少数者)の方々が行政窓口において、職員の理解がないままの対応に心の傷を受ける事が多いとのことで、全国の自治体の中には、性の多様性をしっかり理解した上で、より丁寧なサービスを提供しようと「LGBTQなどの性的少数者に配慮した行政窓口での対応手引き」を作成し、多様性が尊重されるまちづくりに努力している。本村では性の多様性に関する職員への研修や、窓口サービスの対応方法も含めてどのような取り組みが行われているか。</p>	